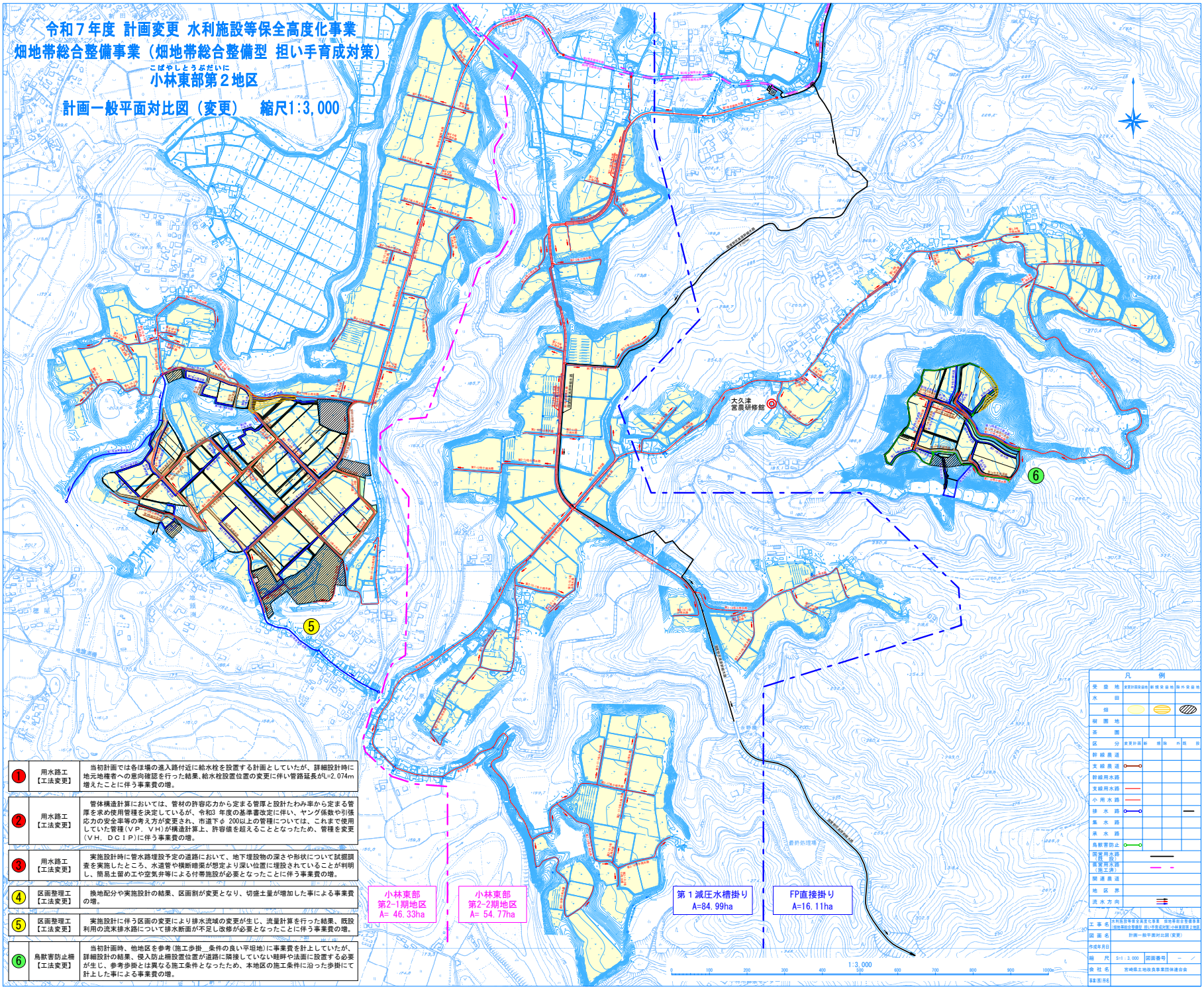
令和７年度 計画変更 水利施設等保全高度化事業
畑地帯総合整備事業（畑地帯総合整備型 担い手育成対策）
小林東部第２地区（こばやしとうぶだいに）
計画一般平面対比図（変更） 縮尺1:3,000



1	用水路工【工法変更】	当初計画では各ほ場の進入路付近に給水栓を設置する計画としていたが、詳細設計時に地元地権者への意向確認を行った結果、給水栓設置位置の変更に伴い管路延長がL=2.074m増えたことに伴う事業費の増。
2	用水路工【工法変更】	管体構造計算においては、管材の許容応力から定まる管厚と設計たわみ率から定まる管厚を求め使用管種を決定しているが、令和3 年度の基準書改定に伴い、ヤング係数や引張応力の安全率等の考え方が変更され、市道下ゥ 200以上の管種については、これまで使用していた管種（ＶＰ、ＶＨ）が構造計算上、許容値を超えることとなったため、管種を変更（ＶＨ、ＤＣＩＰ）に伴う事業費の増。
3	用水路工【工法変更】	実施設計時に管水路埋設予定の道路において、地下埋設物の深さや形状について試掘調査を実施したところ、水道管や横断暗渠が想定より深い位置に埋設されていることが判明し、簡易土留めエや空気弁等による付帯施設が必要となったことに伴う事業費の増。
4	区画整理工【工法変更】	換地配分や実施設計の結果、区画割が変更となり、切盛土量が増加した事による事業費の増。
5	区画整理工【工法変更】	実施設計に伴う区画の変更により排水流域の変更が生じ、流量計算を行った結果、既設利用の流末排水路について排水断面が不足し改修が必要となったことに伴う事業費の増。
6	鳥獣害防止柵【工法変更】	当初計画時、他地区を参考（施工歩掛_条件の良い平坦地）に事業費を計上していたが、詳細設計の結果、侵入防止柵設置位置が道路に隣接していない畦畔や法面に設置する必要が生じ、参考歩掛とは異なる施工条件となったため、本地区の施工条件に沿った歩掛にて計上した事による事業費の増。

凡　例

受益地	変更計画受益地	新規受益地	除外受益地	
水田				
畑				
樹園地				
茶園				
区分	変更計画	新	残	除	外	既	除
幹線農道							
支線農道							
幹線用水路							
支線用水路							
小用水路							
排水路							
集水路							
承水路							
鳥獣害防止							
関連用水路（既設）							
関連用水路（施工済）							
関連農道							
地区界							
流水方向							

工事名	令和７年度 計画変更 水利施設等保全高度化事業 畑地帯総合整備事業（畑地帯総合整備型 担い手育成対策）小林東部第２地区
図面名	計画一般平面対比図（変更）
作成年月日	
縮尺	S=1：3,000
図面番号	－
会社名	宮崎県土地改良事業団体連合会
主任技術者	